



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>



済生会

わがやま

NEWS

第34号

発行日: 2017.7



～ 理 念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。

～ 基本方針 ～

1. 急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
2. 患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
3. 透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を密にし、地域から求められる病院にする。

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

— Information —

看護部長 廣瀬 朱実



平成29年4月1日付を持ちまして看護部長に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

少子高齢化社会が進むなか、国は2025年に向けて「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアシステムの構築」という2本柱で医療政策を進めています。

そのため、在院日数がますます短くなり病院完結型の医療から、急性期治療のみを病院で行い早期に住み慣れた地域での療養生活に移行することを進めてきています。国の政策の影響を受け、外来、入院（退院）、在宅へと看護の連携も重要になっています。今までは、入院中心の看護を行ってききましたが、これからは入院中だけでなく退院後や在宅での生活を考えた看護を行っていく必要があります。当院以外の病院や開業医の先生方、看護師さん、訪問看護師さんやケアマネージャーさん、MSWの方々やヘルパーさんなど、患者さんを取り巻くいろいろな方と連絡を取り、連携し、患者さんや家族にとって一番良いかたちがとれるように取り組んでいきたいと思っております。

また、今まで以上に退院から在宅に向けての支援を充実させて行きたいと考え、昨年10月から地域連携室に看護師を配置し、退院支援看護師としてMSWとともに活動しています。病棟のスタッフだけでなく入院患者さんの目に見える連携を目指しています。しかし、退院支援看護師は活動しはじめたばかりで、ご迷惑をおかけしているところですが、地域の医療関係者の方々や、ケアマネージャーさん方の協力、ご支援のおかげで少しずつですが、患者さん家族に喜んでもらえる様になってきています。今後ますます連携を密にしていきたいと考えています。

外来部門には今年4月から「フロアコーディネーター」を配置し、外来患者さんの診療がよりスムーズに行える様に取り組んでいます。診療前後でお困りなことがあれば、いつでもお声を掛けて下さい。

当院は患者さんの立場に立って安全で質の高い医療を提供すること、地域の中で常に求められる病院であることを目指しています。医療を取り巻く環境が日々変化していくなか、それらに対応出来るような組織づくり、体制作りと人材の育成をしていくつもりです。そのために取り組むべき課題は多々ありますが、看護職員一同頑張っていきますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

日頃より支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。

済生会和歌山病院 心臓血管外科では、低侵襲なカテーテル治療から外科的血行再建を含めてtotal careの下肢治療を行っております。

日々、患者さんの下肢を守るために新たな方法を模索しております。

近年、高齢化や糖尿病・透析患者さんの増加により重症虚血肢に陥る方が増加してきており、下肢血流評価を行う機会が増加してきています。パルスオキシメーターを用いて末梢灌流の状態を連続的かつ非侵襲的に測定することができる器械(Radical-7)を当院で導入しました。Radical-7ではPerfusion Index (灌流指標: 以下PI) という値で下肢血流を評価します。PIは末梢組織における拍動性血液量と非拍動性血液量の比率を表したものであり、パルスオキシメーターを用いて末梢灌流の状態を連続的かつ非侵襲的に測定することができる。最近では麻酔管理中の麻酔効果を判定する指標や、新生児の急性期ケアにおける循環状態の評価指標として用いられている。

今回、下肢血流評価の新しい機器 (Radical-7) を使用した血流障害の評価について紹介します。

Breakthrough *Measurements*. Radical Monitor.

Radical-7 は、画期的なモニタリングをお約束します



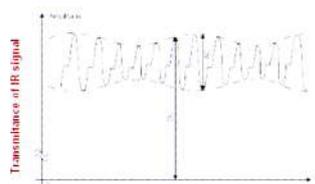
Introducing the 2012

Radical-7[®]

Radical-7 ではパルスオキシメーターを利用してPIを算出する方法は以下の通りです。

Perfusion Index (PI)の定義

- > パルスオキシメータによって得られる一定量の光は、皮膚や他の組織、あるいは静脈などの非拍動成分によって吸収される。
- > 可変する光は拍動している動脈血によって吸収される。
- > 灌流指標 (PI) はACとDCの比率によって算出される。



$$PI = \frac{AC}{DC} \times 100 \%$$

- > PIはこのように、パルスオキシメータによって得られる選択された測定部位の末梢灌流の状態を非侵襲的かつ継続的に示すことが可能である。



当科ではPIにより手術中に血流が改善するかを評価しています。

これによって治療の完成度が増すと考えております。

左手第4指の先端に難治性潰瘍となっていた症例に対し、シャント閉鎖術を施行し、術中にPIが改善した症例を経験したので提示します。

症例

85歳、男性

既往歴
 脳梗塞、認知症
 高血圧、糖尿病、人工透析
 透析アクセス関連盗血症候群(右手)

現病歴
 1か月前より左手第2、4指に潰瘍出現し、治癒しないために当科紹介となった。

現症
 左橈骨動脈触知せず

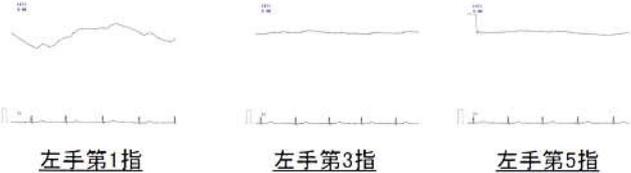


検査

採血検査

WBC	7960	PT-INR	1.04
Hb	9.3	APTT	28.7
PLT	26.3	CRP	0.27
HbA1c	6.9	ALB	3.4

指尖脈波



左手第1指 左手第3指 左手第5指

血管内治療



術前造影 バルーンニング 術後造影

シャント吻合部の狭窄

術後に指尖脈波の改善なし

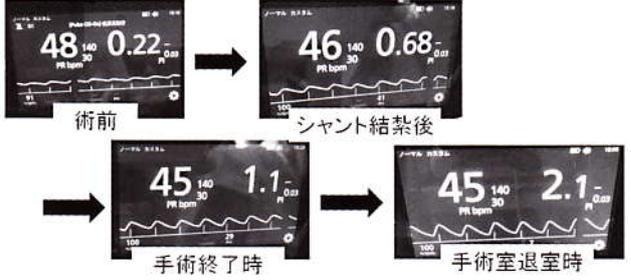
↓

シャント閉鎖手術を予定

手術

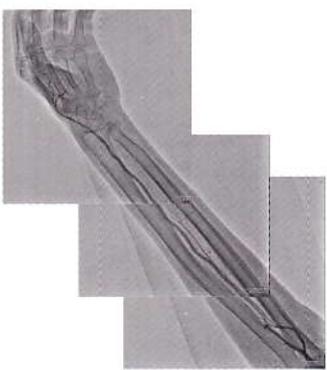


局所麻酔下にシャントを結紮切離した。
 術中にPIを連続測定した。



術前 シャント結紮後 手術終了時 手術室退室時

術後血管造影



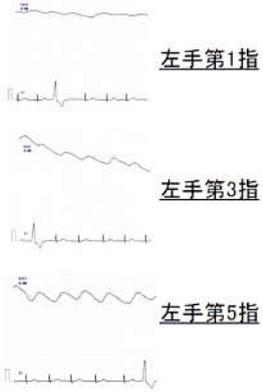
左手血流改善

術後



左手潰瘍治癒傾向

指尖脈波



左手第1指 左手第3指 左手第5指

今回、手術中にPIが改善することにより血行再建の成功したことが予測でき、手指切断を避けることができました。PIのカットオフ値はまだ不明であり、PIがどの程度まで改善すれば切断回避することが出来るのかは判っておりません。今後、これについても研究していきたいと考えております。

当科では外科的治療に加え、低侵襲なカテーテル治療、内科的加療までの地域に根差した質の高い診療を展開したいと考えています。またさらにはそれぞれの状態を適切に診断・把握する事で、生命予後改善につながる、全体的治療の提案が出来ればと考えています。

今後共より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●CGM (Continuous Glucose Monitor:連続血糖測定) 外来開始のお知らせ

糖尿病・代謝内科部長 英 肇

2016年12月1日にFreeStyle リブレプロ (持続血糖モニタリング:CGM) が発売され、保険適応となりました。上腕にコイン大のセンサーをつけておくと、15分毎に2週間分のデータが自動的に記録され、その後リーダーで読み取り、PCで解析します。

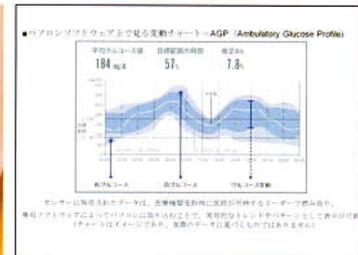
センサー装着感はほとんどなく、入浴や水泳も通常通り行えます。

「血糖(血液中のブドウ糖濃度)」ではなく「間質液のブドウ糖濃度」を測定し、それを補正し血糖に近い値として表しているため、急な血糖変化には対応できない可能性があります。24時間の血糖の変動パターンがわかるため、夜間低血糖や食後高血糖などの発見にも役立ちます。自己負担は3割で、再診料入れて3000-4000円前後です。また、ご希望により栄養指導も組み合わせることができます。お一人お一人のデータを多職種のDCTで検討し、診療情報を提供させていただきます。ご希望があればエクセルデータも提供できます。

禁忌は小児、妊婦(データがないため)、レントゲン(一般撮影含む)、MRI撮影前には必ずセンサーをはずしてください。取り外した時点で、測定終了となります。センサーの数に限りがあるため、完全予約制とさせていただきます。地域連携室までご連絡ください。

【受診のながれ】

- 第1回受診(月曜3時) 説明、センサー装着。
- 第2回受診(2週間後) センサー回収
- 第3回受診(3週間後) 結果説明、診療情報提供



～ 看護の日のイベントを開催しました ～

看護部

21世紀の高齢化社会を支えていくためには看護の心、ケアの心、助け合いの心を私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした看護の心を老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が制定されました。

当院においても看護を身近に感じていただけるよう、5月12日の看護の日に、当院7階多目的ホールでイベントを開催いたしました。

たくさんの患者さんやご家族の方々と共に楽しいひと時を過ごすことができました。



演奏風景



3東病棟看護師 青木 蘭さんによるピアノ演奏



消化器内科 山原 邦浩先生によるバイオリン演奏

～ 赴任のお知らせ ～



脳神経外科 医長
田中 禎之 医師

7月に赴任しました脳神経外科
田中 禎之(たなか よしゆき)と申
します。

脳腫瘍、脳卒中、顔面けいれんや
三叉神経痛などに対する外科治
療を専門としています。

患者さんにわかりやすい言葉で説
明し、安心して安全な治療を提供で
きるように心がけています。今後と
も何卒宜しくお願い申し上げます。



外科
奥 あや 医師

4月から赴任いたしました、外科
の奥 あや(おく あや)と申します。
外科一般の疾患に対する診療に
あたらせていただきます。

至らぬ点多々ありますが、和歌
山の医療に貢献できるよう日々精
進して参りますので、何卒よろしく
お願いいたします。

～ 地域医療連携室からのお知らせ ～

昨年10月から地域医療連携室に配属となりました看護師中村広美です。

【地域包括ケアシステム】が進められていく中、高齢者(障害者)が安心して自分らしい生活を実現するためには、医療と介護の隔たりを超えて医療従事者や介護職がチームとなり、様々なサービス(医療、介護、福祉など)を包括的かつ継続的に受けられることが必要となります。

当院は、地域の中核病院として急性期医療の役割を担っていますが、入院期間が短くなってきている中、患者様・家族が安心して療養の場を地域に移行するためには、地域の施設やスタッフとの連携が今まで以上に重要であると考えています。その為、入院前から在宅医療や介護サービスなどを受けていた患者様については、その支援状況について確認したり、退院前カンファレンスに参加して地域関係機関との調整も協働して行っています。

今後、更に高齢化が進み、独居世帯や老老介護の方々が増えていく現状があります。病気を持ったままでも住み慣れた地域で笑顔で生活できるように、患者様・家族の気持ちに寄り添って、地域の関係職種との連携を図り、退院支援看護師としての役割を担っていきたいと思います。まだまだ力不足で不手際の事もあると思いますが、地域連携室のスタッフと力を合わせ頑張っていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。



済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成29年7月1日現在)

区分	月	火	水	木	金	
内科	消化器内科	山原 邦浩	—	山原 邦浩	河野 尚宏	川口 雅功
		河野 尚宏	—	川口 雅功	—	—
	糖尿病代謝内科	—	—	—	応援医師	—
		交代制	英 肇	荒古 道子	英 肇	荒古 道子
循環器内科	—	—	—	—	—	
	尾鼻 正弘	大鹿 裕之	尾鼻 正弘	大鹿 裕之	和田 輝明	
脳神経外科	田中 禎之	田中 禎之	仲 寛	仲 寛	▲林 靖二山家弘雄	
	三木潤一郎	—	廣緒 洋子	三木潤一郎	—	
外科	—	高垣 有作	—	—	—	
	重里 政信	奥 あや	重里 政信	—	中村 恭子	
	—	—	ストーマ外来	—	—	
心臓血管外科	畑田 充俊	—	栗山 雄幸	栗山 雄幸	畑田 充俊	
整形外科	太地 良	中村 憲太	新患診	松崎 交作	岡田 紗枝	
	岡田 紗枝	山崎 悟		山崎 悟	中村 憲太	
	西山 大介	—		西山 大介	—	
リハビリテーション科	湯田 啓之	湯田 啓之	医大応援医師	湯田 啓之	湯田 啓之	
耳鼻咽喉科	中嶋 宏児	—	グンデウス メーメット	—	—	
腎センター	—	—	—	岡本 昌典	—	
眼科	医大応援医師	医大応援医師	—	森井 智也	医大応援医師	
皮膚科	上中 智香子	—	—	山本 有紀	—	
泌尿器科	—	—	間島 伸行	—	柑本 康夫	

※外科、高垣有作はリンパ浮腫外来となります。

【受付時間】 午前（全科）8時30分～11時00分（但し、予約患者は除く）

- *腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。
- *月曜日午後1時から予約制で禁煙外来を行っています。
- *水曜日はストーマ外来を実施しています。
(予約制・初診の方は紹介状が必要です)

- ▲金曜日の脳神経外科は毎月第2週目のみ山家先生に診察医が変わります。
- *当院では予約診療を行っているため、予約無しで来院された場合は、紹介状を持参されていてもお待ち頂くことがございますのでご了承ください。
ご紹介の際は患者さんの待ち時間短縮の為にもご予約をお取り下さいます様お願いいたします。

診療案内

診察日：月～金曜日

受付時間：午前8時30分～午前11時（但し、予約患者はこの限りにあらず）

休診日：土・日・祝祭日（年末年始）

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ



地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187